

操南支え合いの会

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

中区	小学校区・地区名	操南学区	世帯数	3,681世帯	人口	8,657人
----	----------	------	-----	---------	----	--------

■はじめに

本ネットワークは、操南学区内に組織される24の各種団体が連携し、「防犯・交通安全・防災・環境美化・地域福祉・健康づくり」の活動を展開しているが、その中の新たな活動を紹介します。

■「操南支え合いの会」概要

令和3年4月1日に「操南支え合いの会」として設立。操南学区の4団体（社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・愛育委員会・連合自主防災会）が参画し、情報の共有と連携・協働により、健康増進・介護予防・防災活動などの多様な生活支援を創出し、年をとっても住み続けたいと思える地域を推進することを目的に活動を行う。

■活動の取り組み内容

「操南支え合いの会」では毎月1回、定例会を開き活動について話し合っている。操南学区安全・安心ネットワークでは、平成25年に「安心カード・救急安心カード」を作成し、学区内の65歳以上の希望者に配布。消防署なども操南学区の救急安心カードについて把握しており、いざという時の家族への連絡等に活用している。このカードは作成から約8年が経過したこともあり、操南支え合いの会では「安心カード・救急安心カード」のリメイクを行った。



作成した2種類のカード

カードは2種類あり、A4サイズは自宅用、名刺サイズは外出時に携帯するためのものでそれぞれ

に用途が違う。令和3年、愛育委員と町内会長に協力を依頼し、75歳以上の町内会加入者の人を対象に配布。また、併せて地域の現状を知るためのアンケートを実施、その結果を集計した。



←実施したアンケート

カードやアンケートについて説明する山崎会長

■今後の活動について

アンケートの実施により、学区やそれぞれの町内の特徴や問題が視覚化された。特に高齢者や子どもたちの見守りについての意見が多かった。その問題の中から、支え合いの会としてできる事を話し合いながら進めていく。

■課題と展望

「操南支え合いの会」の活動を地域に周知、理解してもらうことが大切である。今後も定期的な活動報告やアンケートの実施などを模索していく。

【支え合いの会の構成団体】

- ・ 操南学区社会福祉協議会
- ・ 操南学区愛育委員会
- ・ 操南学区民生委員児童委員協議会
- ・ 操南学区連合自主防災会